

子どもの五感を刺激する 知育玩具の制作

一音を聴きわけるー

ブナ・ポーステイン・リボス
w40×d40×h40mm 10

高島 由貴
Takashima Yuki
造形芸術コース

子どもにとって、毎日の日常生活は学習である。

そのような日々の中に、ちょっとした楽しみを与える、様々な音のするマラカスのような、ガラガラのようなおもちゃ。振ると、さらさら・からからと音がする。

ぜひ、耳をすまして聴いてみてほしい。

ささいな音の違いを聴き分けようとすることで、いつもよりも耳をすます。すると、脳の処理回路が増え、聴こえる音程・音色の幅は自然と広がる。また、聴きとろうと一生懸命になることにより、集中力も養われる。対象は1歳以上の子どもである。

同じ色の積み木同士は同じ音色、5種類の音色を聴きわける。同じ色の積み木を見つける楽しい遊びもできる。お友達に積み木を1つ渡して、音を聴いてもらってほしい。自分は積み木を2つ持ち、背中で隠して振る。「左、右、どっちだ!」そう言うと、お友達は考え始める。「右!」お友達が持っている積み木と、自分が持っている積み木が同じ色ならば正解である。

